

令和7年度

決算公告

自：令和7年4月 1 日

至：令和8年3月31 日

東京都新宿区新宿五丁目 17 番 18 号 H&I ビル8階

オリーブ少額短期保険株式会社

代表取締役社長 青木 平

(1) 貸借対照表

令和7年度（令和8年3月31日現在）貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	669,459	保険契約準備金	259,365
現金	-	支払備金	185,558
預貯金	669,459	責任準備金	73,807
有価証券	-	代理店借	6,754
国債	-	再保険借	-
地方債	-	短期社債	-
その他の証券	-	社債	-
有形固定資産	-	新株予約権付社債	-
土地	-	その他負債	178,924
建物	-	借入金	-
リース資産	-	未払法人税等	950
建設仮勘定	-	未払金	169,794
その他の有形固定資産	-	未払費用	644
無形固定資産	-	前受収益	-
ソフトウェア	-	預り金	144
リース資産	-	資産除去債務	-
その他の無形固定資産	-	賞与引当金	3,366
代理店貸	-	役員賞与引当金	700
再保険貸	-	その他の負債	3,324
その他資産	198,235	退職給付引当金	-
未収金	157,601	役員退職慰労引当金	-
共同保険貸	36	価格変動準備金	-
貸倒引当金	△4,880	繰延税金負債	-
未収保険料	-	負債の部 合計	445,043
未収還付法人税等	227	(純資産の部)	
前払費用	39,908	資本金	973,643
仮払金	-	新株式申込証拠金	-
貯蔵品	5,342	資本剰余金	949,643
その他の資産	-	資本準備金	949,643
未収収益	-	その他資本剰余金	-
預託金	-	利益剰余金	△1,437,636
前払年金費用	-	利益準備金	6,705
繰延税金資産	-	その他利益剰余金	-
供託金	63,000	繰越利益剰余金	△1,444,341
		自己株式申込証拠金	-
		株主資本合計	485,651
		純資産の部 合計	485,651
資産の部合計	930,695	負債及び純資産の部合計	930,695

(2) 損益計算書

令和 7 年 度 $\left(\begin{array}{l} \text{令和 7 年 4 月 1 日から} \\ \text{令和 8 年 3 月 31 日まで} \end{array} \right)$ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	1,525,866
保険料等収入	1,524,001
保険料	1,524,001
再保険収入	-
回収再保険金	-
再保険手数料	-
再保険返戻金	-
その他再保険収入	-
資産運用収益	1,864
利息及び配当金等収入	1,864
その他経常収益	0
経常費用	2,661,708
保険金等支払金	598,182
保険金等	596,342
解約返戻金等	1,839
再保険料	-
支払備金繰入額	15,791
支払備金繰入額	15,791
責任準備金繰入額	20,286
責任準備金繰入額	20,286
事業費	2,027,431
営業費及び一般管理費	2,019,543
税金	7,291
減価償却費	596
その他経常費用	17
保険業法第 113 条繰延資産償却額	-
支払利息	-
その他の経常費用	17
経常損失	△1,135,841
特別利益	1,000,000
受贈益	1,000,000
特別損失	6,773
減損損失	6,773
その他特別損失	-
税引前当期純損失	△142,615
法人税及び住民税	950
法人税等調整額	-
法人税等合計	950
当期純損失	△143,565

(3) 個別注記表

① 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却の方法は定率法により行っております。
2. 従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を賞与引当金として計上しております。
3. 役員に対して支給する賞与に備えるため、役員賞与引当金を支給見込額に基づき計上しております。
4. 消費税の会計処理は税込方式により行っております。
5. 無形固定資産（ソフトウェア）に計上している自社利用のソフトウェアの減価償却の方法は、利用可能期間5年に基づく定額法により行っております。

② 表示方法の変更に関する注記

(損益計算書)

当事業年度より、金融庁が定める「保険業法施行規則」に規定された様式に従い、支払備金および責任準備金については、繰入額と戻入額を相殺のうえ、「支払備金繰入額」および「責任準備金繰入額」として純額で表示しております。

なお、前事業年度は、両備金の繰入額を計上費用に、戻入額を経常収益に、それぞれ総額で表示しておりました。

③ 会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

支払備金 185,558 千円

責任準備金 73,807 千円

④ 貸借対照表に関する注記

1. ① 金融商品の状況に関する事項

少額短期保険業者の運用資産は、預貯金（外貨建を除く）・国債・地方債等に限定されており、当社では、内部規程により、資産の健全性維持に努めております。

② 金融商品の時価等に関する事項

令和8年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額について次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金及び預貯金	669,459	669,459	-
未収金	157,601	157,601	-
供託金	63,000	63,000	-
代理店借	(6,754)	(6,754)	-
未払金	(169,794)	(169,794)	-

(注) 金融商品の時価の算定方法

当社が保有する金融商品のうち、重要性のあるものは上記表のとおりであります。これらは全て短期間で決済されることから、時価は帳簿価額に近似していると考えられるため、当該帳簿価額を時価としております。

2. 支払備金は、当期末において既に発生した又は発生したと認められる損害につき、将来保険契約に基づいて補償するに必要と認められる金額を保険業法 117 条及び同 272 条の 18、並びに同施行規則 211 条の 47 に基づき計上しております。
3. 責任準備金は、将来発生する可能性のある損害及び異常災害損失のてん補による支払に充てる等保険契約上に基づく責任遂行のため、保険業法 116 条 1 項及び 3 項、同第 272 条の 18、並びに同施行規則 第 211 条の 46 に基づき計上しております。

4. 当期末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりであります。
- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 支払備金 | |
| 支払備金（出再支払備金控除前） | 185,558千円 |
| 同上にかかる出再支払備金 | -千円 |
| 差 引 | 185,558千円 |
| 2. 責任準備金 | |
| 普通責任準備金（出再責任準備金控除前） | 21,508千円 |
| 同上にかかる出再責任準備金 | -千円 |
| 差 引（イ） | 21,508千円 |
| 異常危険準備金（ロ） | 52,298千円 |
| 計（イ）＋（ロ） | 73,807千円 |
5. 関係会社に対する金銭債権、債務
区分掲記されたもの以外で金銭債権及び金銭債務に含まれているものは、次のとおりであります。
6. 短期金銭債務 56,750 千円
7. 短期金銭債権 52 千円
8. 一株当り純資産額は77,704 円 23 銭であります。
算定上の基礎である純資産の部の合計額は485,651 千円であり、普通株式6,250 株に係るものであります。一株当り純資産額の算定に用いられた期末の普通発行済株式数は6,250 株であります。
9. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

⑤ 損益計算書に関する注記

1. （１）正味収入保険料の内訳は以下のとおりであります。
- | | |
|---------|-------------|
| 保険料 | 1,524,001千円 |
| 解約返戻金等 | 1,839千円 |
| 小計（イ） | 1,522,161千円 |
| 再保険料 | -千円 |
| 再保険返戻金 | -千円 |
| 小計（ロ） | -千円 |
| 差引（イーロ） | 1,522,161千円 |
- （２）正味支払保険金の内訳は以下のとおりであります。
- | | |
|--------|-----------|
| 保険金等 | 596,342千円 |
| 回収再保険金 | -千円 |
| 差引 | 596,342千円 |
- （３）支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は以下のとおりであります。
- | | |
|--------------------|----------|
| 支払備金繰入額（出再支払備金控除前） | 15,791千円 |
| 同上にかかる出再支払備金繰入額 | -千円 |
| 差引 | 15,791千円 |
- （４）責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は以下のとおりであります。
- | | |
|----------------------|----------|
| 責任準備金繰入額（出再責任準備金控除前） | 7,037千円 |
| 同上にかかる出再責任準備金繰入額 | -千円 |
| 差引（イ） | 7,037千円 |
| 異常危険準備金繰入額（ロ） | 13,248千円 |
| 計（イ＋ロ） | 20,286千円 |
2. 関係会社との取引高
- ① 営業取引高 763,789 千円
- ② 親会社からの資金提供 1,000,000 千円
3. 一株当りの当期純損失は△22,970 円 42 銭であります。
算定上の基礎である当期純損失は△143,565 千円、期中平均発行済株式数は6,250 株であります。

⑥ 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

繰越欠損金	689,405 千円
貸倒引当金	1,366 千円
未払事業税	930 千円
減価償却超過額	7,393 千円
普通責任準備金	1,536 千円
異常危険準備金	14,644 千円
IBNR 備金	25,754 千円
その他	1,319 千円
繰延税金資産小計	742,351 千円
評価性引当額	△742,351 千円
繰延税金資産合計	-千円

⑦ 関連当事者との取引

1. 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	被所有割合	取引内容	取引金額 (千円)	期末残高 (千円)
親会社	インシュラントグループ(株)	100%	親会社からの資金提供	1,000,000	-

2. 兄弟会社等

種類	会社等の名称	被所有割合	取引内容	取引金額 (千円)	期末残高 (千円)
親会社の子会社	(株)SSI パートナー	0.0%	広告宣伝業務の委託	628,116 (注1)	未払金 39,727
			保険商品勧誘業務委託	33,469 (注1)	未払金 4,917
			代理店借	7,727 (注1)	未払金 577
			出向者の受入	57,315 (注1)	未払金 8,685

(注1) 取引金額その他の取引要件は、市場価格等を勘案して、一般取引条件と同様に価格を決定しております。

⑧ 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。